



高温登熟障害に強い「恋の予感」

「恋の予感」を県南部の「ヒノヒカリ」に代わる奨励品種として採用しました。
この品種は、高温で登熟しても玄米品質の低下が小さく多収です。

高温で登熟した「ヒノヒカリ」は胚の近くや背側が白濁したり、
粒張りが劣ったりして品質が低下します



恋の予感

ヒノヒカリ



特性

「ヒノヒカリ」と比較して

- 成熟期は4日遅い
- 短稈で栽培しやすい
- 多収
- 千粒重大きく品質良
- 同等の良食味



恋の予感

ヒノヒカリ

品種名	出穂期 (月. 日)	成熟期 (月. 日)	稈長 (cm)	精玄米重 (kg/a)	千粒重 (g)	整粒率 (%)	食味 官能	
恋の予感	8.23	10.5	78	59.0	108	23.1	88.7	良
ヒノヒカリ	8.17	10.1	89	55.4	100	22.2	82.1	良